



第12回

「夏の課外授業」

おどろきと発見がいっぱい!

今年も、7月20日から9月1日まで実施した「夏の課外授業」には、市内外から多くの子どもたちが参加。「作って、見て、触って」みんなで楽しく学ぶ、生き生きとした子どもたちの笑顔に出会いました。その体験の一部を紹介します。

問い合わせ先
子ども育成課 ☎(36)1214

夏休みに子どもたちが楽しめる「夏の課外授業」

今年で2回目を迎えた「夏の課外授業」は、子育て世代を中心に、さまざまな体験を通して宗像の良さを実感してもらうことを目的とするものです。

「つくって食べよう」「体験してみよう」「つくってみよう」見て触って学ぼう「長期間開催のイベント」の5つのジャンルを設け、その中で、市内の事業者の協力で、ピザ作りやシーカヤック体験、工場見学など、子どもたちが夏休み

「めざせ未来の消防士」

が8月9日、宗像地区消防本部で実施されました。

夏の太陽が照りつける中、参加した親子は消防隊員になるための訓練にチャレンジしました。

東日本大震災でも有効だった消火方法のバケツリレーでは、消防隊員5人チームとタイム



みんなで力を合わせてバケツリレー

では、「頑張れ! 頑張れ!」とお互いを励まし合う光景も見られました。

最後に「未来の消防士認定書」を受け取り、子どもたちは、もう立派な消防士です。

楽しく学ぶ科学「一番人気はスライム作り」

8月10日に宗像ユリックス・イベントホールで開催された、「世界一有名な科学広場 in 宗像 2013」では、親子連れなど多くの来場者でにぎわいました。

物作り、ロボット教室、風船を浮かべよう! など、さまざまなブースがあり、中でも毎年恒例のスライム作りは大人気で長蛇の列。今年



大人気のスライム作り

は、1人も怖がらず、子どもたちは大興奮。また、タイムを競う水消火器を使った模擬消火訓練

のサイエンスショーが実施され、光の実験に子どもたちは興味津々。赤、青、緑の光を合わせて白い光になると、会場に驚きの声や響きわたりました。

子どもたちは楽しみながら科学をしつかり学んでいる様子でした。

ワクワクしながら「一生懸命組み立てた金属探知機」

「先端科学技術を活用したモノづくり体験」が8月24日、株式会社トヨタプロダクションエンジンアリングで開催され、7家族が参加しました。

セキュリティカードを受け取った子どもたちは、ワクワクした様子で、いざ作業場へ。「今日は金属探知機を作ります」とスタッフの言葉に目を輝かせました。

初めて使用した「はんだごて」に四苦八苦しながら、子どもたちは一生懸命に金属探知機を組み立てていました。組み立てが終ると、画用紙に絵を描き、カラフルな車を作成。それを金属探知機にかぶせて出来上が



初めて使った「はんだごて」

最後に「未来の消防士認定書」を受け取り、子どもたちは、もう立派な消防士です。

遊びながら「ミニコミュニケーション」

8月28日、福岡教育大学・英語教育講座・中島研究室主催の「Summer Fun Fair」(サマーファンフェア)が、赤間コミュニティ・センターで実施されました。

福岡教育大学の学生と、アメリカや韓国など5カ国の留学生たちが、参加した子どもたちに英語の楽しさを教えました。

言葉遊びや、大きな



留学生と英語でコミュニケーション

子どもたちと一緒に協力事業者も笑顔

子どもたちの笑顔のために、27事業者が夏の課外授業に協力し、イベントを提供しました。「協力を事業集の広報を見て、子どもたちのために協力したい」と、生産者同業しみに待っていました。

と株式会社キューレイの尾花栄之(えいし)さん。粋工房の伊藤幹生さんは「昨年から協力しています。同じメニユーだけでなく、来年はもっと工夫したいイベントをした」と来年へ向けての意気込みを話し、子どもたちだけでなく協力事業者も笑顔を見せてくれました。



協力事業者のみなさんありがとうございました

舞台裏

今回の学力・学習状況調査結果をきっかけにいろいろ考えた。教育環境に対する市のさまざまな取り組みにまず感謝。同時に強く思うこと。子どもには日々「学習」することを怠らず、その結果としての「学力」。達成感を味わってほしい。今一度、将来にも目を向けながら、今をどう過ごすべきか、子どもと一緒に考えてみよう (な)

■今年、新市制10周年記念の行事が盛りだくさんで外にできる機会が増え、初めての試みの行事にもわくわくしながら参加した「ミアール音楽祭」前夜祭では、お祝いをしてくれているように、きれいな大きな虹を見ることもできた。秋は、出かけたくなる場所がたくさん。カメラ片手に市内を散策してみよう (ひ)

■ミアール音楽祭の中で10月13日に実施された「楽器であそぼう」普段なかなか触ることができないさまざまな楽器に触れ、目を輝かせる子どもたちの姿が印象的だった。話を聞くと「将来音楽関係の仕事に就きたい」と夢を教えてくれた。宗像の子どもたちが夢を実現できるよう、私も陰ながら応援したい (み)